



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

2019年5月7日

1~4月の主要マクロ指標

項目	1~4月（推定値）	前年同期比
貿易収支	約7億1,100万ドル 輸出額（約787億円） 輸入額（約780億円）	+5.8%（輸出） +10.4%（輸入）
消費者物価指数（CPI）	-	+2.7%
鉱工業生産指数（IIP）	-	+9.2%
小売売上高	1,584兆ドン（約7.5兆円）	+11.9%
外国人旅行者	約596万人	+7.6%

出所：GSO

- 輸出額では「電話・電話部品」が前年同期比-0.2%と、微減ながら項目別では最大であり（約160億ドル）、輸出先では前年同期比+28.4%と急増している米国がトップ。中国向け輸出は同5.8%減の約104億ドル。
- 輸入額では項目別では「電子・電子部品」（約157億ドル、同+20%）が最大であり、輸入元は同18.8%増で約223億ドルの中国が最大だった。またASEANやEUからの完成車の輸入が増えている。
- 消費者物価指数では「教育」（同+6.11%）「住宅・建材」（同+3.25%）が伸びた。
- 鉱工業生産は同+9.2%と堅調で、北部のギソン製油所、南部のズエンハイ火力発電所の貢献が大きかった。
- 小売売上高では全体の約76.8%を占める「小売商品」（約5,800億円）が同13.2%増、「家電・家庭用品」が同+12.9%、「アパレル」が同+12.4%、「自動車」が同+11.1%と堅調な伸びを示した。
- 2018年の外国人旅行者は約1560万人と過去最高であったが、2019年1~4月も好調で前年同期比+7.6%の約596万となった。来訪者の国籍では中国人（約170万人）がトップ、韓国（約144万人）、日本（約30万人）が続いた。空路によるものが同+5.4%の約467万人だった。

以上